

座へ

スクープ班が入手した情報をもとに、次期デミオの外観フォルムを予想してみた。シンプルな雰囲気は現行モデルから継承されるだろう。

Illust. K.Honma



091

これがスカイライン2ドア&シルビアの統合後継車か!?

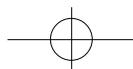
XVLクーペ

Illust. Y.Matsumoto



流麗なボディスタイルを得て登場するXVLクーペ。ラグジュアリー系のほかにスポーツモデルもラインナップされるだろう。

ス カイライン4ドアとローレルがXVLに統合された後、02年9月にはスポーツクーペ系も新世代モデルに切り替わる。スクープ班ではXVLベースのクーペモデルが存在することをキャッチ。スカイライン2ドアとシルビアの後継統合車としてデビューする可能性もあるが、現時点では国内投入されるかどうかは判明していない。
ベースには新開発のFR レブラットフォームが使われ、クーペ用にわずかながらホイールベースが短縮されるだろう。フロントノーズにはコンパクトなV6エンジンが収まり、スムーズな走行フィーリングがもたらされる。



21世紀モデル

SCOOP▶▶▶
2000連発

093



セリカ MC

02年8月のMCに向けて準備が始まったが、市場からは大きなクレームもなく、小規模な変更にとどまりそうだ。フロントバンパーやリアコンピランプ、ボディカラー、シート表皮が見直される程度か。また、それに先がけて「TRDスポーツM」がチューンナップされ、再販されるとの情報も届いている。

094



アコード/トルネオ

FMCは02年8月に行われ、次期モデルも5ナンバーサイズのファミリーセダンとして販売される。社内コード「K1」を与えられ、開発構想が練られている最中だ。現行同様、各仕向け地に見合った仕様が開発され、北米やヨーロッパへは専用モデルが投入される。ちなみに、英国工場では03年4月に生産開始となる。

095



アコードワゴン

セダンがFMCを実施した2カ月後、02年10月にはワゴンがバトンタッチを果たす。開発スケジュールはセダンとほぼ並行しており、01年秋に試作が組み付けられる。ヨーロッパへも輸出されるが、投入時期は03年3月と、国内よりも半年ほど遅れる模様。また、ヨーロッパ専用のボディデザインをまとう可能性が高い。

096



キューブ

新世代「B」プラットフォームを使い、洗練されたモノボックス・フォルムを得てキューブが2代目に切り替わる。開発コードは「YY」で、02年8月デビューを目標に開発が進められている。いちだんと向上する使い勝手や低燃費にも貢献するハイパーCVTをセールスポイントに、エントリーカーとして若者を狙う。

097



フェアレディZ

長らくウワサされてきたZカーのデザインスタディが01年初頭の北米ショーで披露される。市販モデルにどれほど近いのかはわからないが、以前に出品されたモノよりは現実味を帯びているはず。開発コード「G1」の次期モデルは02年4月に北米で発売され、数カ月遅れて国内とヨーロッパでも販売が始まる。

098



ロードスター MC

先代モデルと同じく、患の長いモデルになりそうだ。今年初のMCで外観がリフレッシュされたが、次のMCは02年に行われる。ふたたびエクステリア細部やメカニズム面に磨きがかかり、いっそう熟成されるだろう。また、話題喚起を狙い、特別色に身を包んだ限定モデルがリリースされるかも。

090 質実剛健に磨きを か
ベスト・コンパクトの

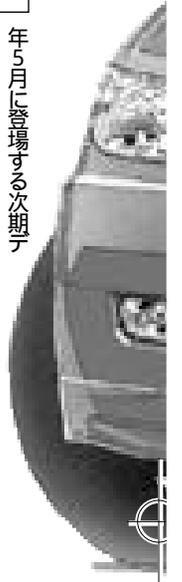
デミオ

02

年5月に登場する次期デミオ(開発コード「J37 E」)は、好評を博している現行モデルからコンセプトを踏襲。コンパクトなボディサイズと広いキャビン、両立を図り、クラストップレベルの使い勝手のよさも備える。搭載エンジンは現行と同じく1.3 と1.5 の2タイプで、1.5 には新開発のCVTが組み合わされる動きもある。また、ホイールベースは現行比プラス100の2490 に拡大され、乗り心地と使い勝手の両方が向上。予想入りサイズは3850 x 1670

国内では月販6500台が見込まれており、ヨーロッパをはじめ、海外へも幅広く輸出される予定。いまのところ、次期モデルにも4WD車の設定計画はない。

×1540だ。装備アイテムでは人気のダブルフロアリング式リアシートに加え、新たにキャンバストップやシートバック背面にテーブルを備えた助手席スペースアップシート、カーテンシールドエアバッグの採用も検討されている。



他

092

秘蔵RVに課せられた使命は
ハリヤーノクルーガー撃

日産新型SUV

社に先を越されたものの、エクストレイル投入で若者にも手が届くアクティブSUVをラインナップに加えたい日産。続いて02年11月に発売されるのは高級テイストが盛り込まれたラグジュアリーSUVだ。ズバリ、ハリヤーノクルーガー兄弟をライバル視したビッグサイズで、北米市場がメインターゲットとなる。テラノよりもオンロード指向に味付けされ、ヘビータグSUVとの差別化も明確に図られるはずだ。

開発にあたっては次期アルティマがベースに起用されており、4気筒エンジンが量販モデルに搭載されるだろう。有力なのは新世代ユニットのQR25DE型2.5だ。また、アクラMDXなどの上級ライバル車

Illust. Y.Matsumoto



次期アルティマのコンポーネンツをベースに開発されている上級SUV。街乗りユーザーにピッタリな1台だ。